

3級 学習編

問 B13 p72 - p73

情報教育の目標である、「情報活用の実践力」「情報の科学的な理解」「情報社会に参画する態度」と、それを説明したA～Eの組み合わせとして【正しいもの】を1つ選びなさい。

- A. 課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力
 - B. 問題解決的な学習の中で、主体的に情報を活用するために、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的に活用する能力
 - C. 情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解
 - D. 情報社会を支える基本的な情報技術やそれを支える論理的な考え方、情報を扱う上で必要となるハードウェアの仕組みなどの科学的な理解と応用する能力
 - E. 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度
- ア. 情報活用の実践力 イ. 情報の科学的理解 ウ. 情報社会に参画する態度
1. ア=A, イ=C, ウ=D 2. ア=B, イ=C, ウ=D 3. ア=A, イ=D, ウ=E
4. ア=A, イ=C, ウ=E 5. ア=B, イ=D, ウ=E

答え 4

解説

- 情報活用の実践力
正解はA。Bは情報手段を適切に活用することや収集することの一側面。コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用するだけでなく、情報を適切に選択する、判断する、整理する、まとめる、受け手にわかりやすく発信する、伝達できるなどの能力も必要とされている。「しらべて、まとめて、つたえる」
- 情報の科学的な理解
正解はC。Dは情報手段の特性や理論の理解(特徴の理解や操作の理解)などに大きく関わるが、それが情報の科学的な理解のすべてではない。情報手段を使い分ける、情報活用の評価・改善ができるなど、それにつながる知識として重要
- 情報社会に参画する態度
正解はE。情報社会を支える情報技術の特性や支援のシステムなど知った上で、それが社会や人間へどのような役割を担っているのか、どのように影響するのか、それが望ましいのか、どのような責任を持つのかなどを考える。情報モラルの必要性や情報に対する責任などを考えるようになる。望ましい情報社会を築くために取り組んでいこうとする態度が必要となる

情報教育の目標のなかに求められる情報活用能力は互いに強い関係があるため、B,Dは内容として正しいように思えるが、求められる能力の一面しか語られていない。

情報化の進展に対応した教育環境の実現に向けて（情報化の進展に対応した初等中等教育における情報教育の推進等に関する調査研究協力者会議 最終報告）

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/002/toushin/980801.htm